

誰もやっていないから
やってみよう

You don't know what the Internet is before you really use it.

インターネット・マルチキャスト・サービス

Internet
Multicasting
Service

カール・マラムッド

Carl Malamud

IMSは首都ワシントン議事堂近くの、小さな中国料理店の2階にある。



「インターネットにとってどんな意味があるかなんて、やってみなくちゃ分からないよ。僕たちはコンテンツを作って、流してみるだけさ」。そう早口でまくしたてるインターネット・マルチキャスト・サービス（IMS）の社長カール・マラムッド氏の行動は、かなり過激に見えるかもしれない。

ダライ・ラマやラルフ・ネーダー、ゴア副大統領などの有名人がワシントンのナショナル・プレスビルで行ったランチョン・スピーチをデジタル録音し、音声や画像を放送のように伝えることのできるMBONEという方式を使って93年4月からインターネットに流し始めた彼は、ラジオ・テレビ関係者をびっくりさせた。電波の免許も要らず、世界中にテキストばかりか音声や動画さえ流れているとあっては、マスメディアも黙ってはいられない。

さらには、昨年のインターネットのお祭り「インターロップ」のラスベガスの会場に、ラジオ・ステーションならぬ「サイバー・ステーション」を開設し、インターネットでディスクジョッキーを始め、情報スーパーハイウェイをめぐってロン・ブラウン商務長官やエドワード・マーキー下院議員などの中心人物と電話でやりとりし、それを世界中に発信した。

マラムッド氏は、かつてITU（国際電気通信連合）の膨大な量の標準規格書を誰でもが使えるようにインターネットに流し、官僚的なITUと張り合ったこともある強者。情報スーパーハイウェイにはもっと政府の情報を流すべきだと、いままで他のデータベース会社が有料で流していた米証券取引委員会（SEC）の情報を全米科学財団（NSF）の援助金を使って買い上げ、一日遅れでインターネットに無料で流し、特許情報のデータベースも無料で公開した。またまたデータベースの業界から猛烈に反対されたが、めげなかった。

インターネットで初のカラオケ

昨年の年末には「北極ネット（North Pole）」を開設し

屋上の衛星用のパラボラアンテナがやけに目立つ。カナダなどからラジオ放送を受信し、インターネットに流すために使われる。



でサイバークリスマスを仕掛けたマラムッド氏は、「クリスマスソングやドルフの声も聴け、サンタクロースに電子メールを送ったり、ネット上のクリスマスツリーの飾りつけもできるようにしたんだ」と快活にしゃべり続ける。

ビル・ゲイツ・ツリーという木もあって、「実物よりも良く見えるが、小さな木を買おうとすると高くつく」となどという皮肉っぽいコメントも付いている。

サンタにメールを送ると、自動的にプログラムが返事を送ってくれ、スポンサーになっていたサン・マイクロシステムズ社などがメール1通につき10セントのチャリティーを慈善団体に寄付することになっていた。どこかの誰かが自動的に大量のメールを送りつけてきたため、サーバーがダウンするという事件も発生した。

また、ワシントンのリンカーンセンターでは年末恒例になっている、ヘンデルのメサイアの合唱の中継も仕掛けた。ただの音声の中継ばかりでなく、「ホワイトボード」というプログラムを使って歌詞を送れるようにし、コーラスの音声といっしょに歌詞が点滅してコンピュータの前でいっしょに歌えるようにした。

「世界初のインターネット・カラオケだと思うな。クリスマスにはテレビもラジオも、スペシャル番組をやるでしょう？ あれと同じ。カラオケは日本に行ったときに、インターネットでぜひやってみようと思っただけ」とマラムッド氏は、何の苦労もなかったかのように話し続ける。

インターネット・マルチキャスト・サービスは、最近になって国会議事堂と国会図書館のすぐ裏にある、中

IMSの面々。前列中央がカール・マラムッド氏。後列左から、フランスから留学しているフィリップ・タボー、副社長のルーサー・ブラウン、チーフエンジニアのリック・ダンバーの各氏。



壁に取り付けられているのは、CDが200枚入る音楽用サーバー。マラムッド氏好みのロックが詰まっている。



部屋の片隅には、T1回線用のルーターが。

国料理屋の2階に新たなオフィスをかまえ、ついに議会の中継も始めた。

「僕はプレスだと言って、プレスバスをまずもらった。そして音声を流す回線を調達して、こっちのオフィスに議会の音声を持ってきた。これをデジタル化してインターネットに流すだけさ」

屋根に付いた衛星アンテナは、ラジオ放送の音声を受けるために付けられたもの。これで受けたカナダやフランス、イギリスのラジオ番組の音声も世界中に流している。この中には日本のNHKの国際放送の情報も入っている。

以前に導入した、CD200枚分を収容できるサーバーを使った音楽チャンネルと合わせ、これでマラムッド氏の運営するインターネット上の音声チャンネルは5つになった。